

平成 21 年度 大学教育改革プログラム 合同フォーラムについて

○参加日 平成 22 年 1 月 7 日(木)13:00～17:30

翌 8 日(金)にも開催されたが、戦略的大学連携支援プログラムの紹介がある 1 日目のみに参加した

○場 所 東京ビッグサイト

○内 容 1 情報交換会：随時

2 ポスターセッション：随時

3 分科会：16:00～17:30

「大学間連携の展開」

(大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム)

報 告

1 情報交換会：随時

- ・ 紹介パンフレットが置かれており、適宜関心のある取り組みについてのパンフレットを受け取ることができるようになっていた。
- ・ われわれ三大学連携事業に係るパンフレットも 150 部用意し、2 日間で 74 部をもらっていた。
- ・ 12/12 に訪問調査を受けた広島大学の取り組みについてのパンフレットも並んでいた。
- ・ 戦略的大学連携支援プログラムに係るパンフレットは 3 取組みが用意されていた。

2 ポスターセッション：随時

- ・ 1/7(木)1 日目全体で 161 組の取組み紹介があり、そのうち戦略的大学連携支援プログラムの取組みは 15 組 (051～065) であった。
- ・ 関西大において、この 15 組全ての資料を入手した。
- ・ 次年度にポスターセッションに参加することを前提に、戦略的大学連携支援プログラムの 15 組とこれ以外の全取組み、計 161 組ものポスターの写真を撮影した。

◎戦略的大学連携支援プログラムにおけるヒアリング内容は次のとおり。

・ 051 北海道教育大学

→もともとはコンソーシアムを立ち上げ、それをベースに各大学の既存リソースを活用して、公開講座等を実施している。

戦略的大学連携支援プログラムに採択され、単位互換等を実施している。

・ 054 滋賀医科大学

→プレゼンでは、特殊なメガネを着用することで脳の 3D 画像を見ることができるものを用意されていた。

共同 F D や S D, 連携授業を実施している。

・ 055 岡山大学

→岡山理科大が独自で開発した“桃太郎”というシステムを使って、e-learning を実施している。

35 科目、約 3,000 人が利用し、単位互換を実施

各大学授業時間が異なるため、e-learning が最適である。

学生が定期的に授業を見ることができるように、期限を設定し、出席表を提出させている。

試験は、FACE TO FACE で実施している。

- ・ 062 武庫川女子大学

→公江事務局次長にご挨拶

3 分科会：16：00～17：30

「大学間連携の展開」

(大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム)

◎各大学の事例発表に先立ち、文部科学省の担当者から、次のような説明があった。

- ・平成 22 年度の予算については、48 億円、前年比△20%である。
- ・来年度新規募集は行わない。
- ・大学連携をさらに進め、共有財産としてほしい。

(1)059 酪農学園大学 16：10～16：47

「現場に学んで現場に還す」→これが成功のカギ

①人材育成と②社会貢献

①人材育成では、食の安全、安心基盤学の授業や実習・演習を実施

H21 は試行的に、H22 から実施するが、単位は卒業要件外

大学院での教育や社会人教育を実施

②社会貢献では、地域への支援、消費者・企業との連携を深め、循環的に進めることが大切と考えている

地域拠点型農学エクステンションセンター：3 大学と 8 農村サテライトを設置

(2)058 北九州市立大学 16：48～17：19

- ・国公立の 3 理工系大学院が連携し、カーエレクトロニクスの領域において高度専門人材を育成する。
- ・トヨタ九州、オムロン、マツダ、日産などの企業の協力を得て、それぞれのシステムを開発することができていることが、成功のカギ
- ・就職先としても確保ができていることが成功要因

以 上